

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） サンドコンパクション工（海底の地盤改良工）の完了

記者発表資料

12月13日（木）未明、D滑走路の埋立部護岸の基礎となる海底の地盤改良工事サンドコンパクション（SCP）工が完了しました。

本年5月末から本格的にSCPの工事を開始し、12月までに計71,747本の砂杭を海底地盤中に打設しました。SCPは、打設した砂杭の抵抗で、上部に構築する埋立部の外周部となる護岸構造を支えます。砂杭の径は直径2m、長さは最大約27mで、約620万³の砂を使用しました。最盛期には14隻ものSCP船が稼働しました。

今後は、埋立部の地盤改良工事として、サンドドレーン（SD）工、サンドマット工、CDM工、盛り上がり土の撤去工が主体となります。

なお、現在、24時間365日の工事工程で進めており、年末年始に関しても作業を実施予定です。実施予定の作業としては、サンドドレーン工、盛り上がり土の撤去工、サンドマット工、CDM工、ジャケット工場製作、工事区域の警戒と環境モニタリング、作業船舶の安全を見守る航行安全センターの稼働、等です。

※サンドコンパクション工：軟弱な地盤にケーシングパイプ用いて砂を圧入し、大径（直径2m）の締め固められた砂杭を打設し、軟弱地盤の改良を行う工法です。

平成19年12月25日

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

同時発表記者クラブ

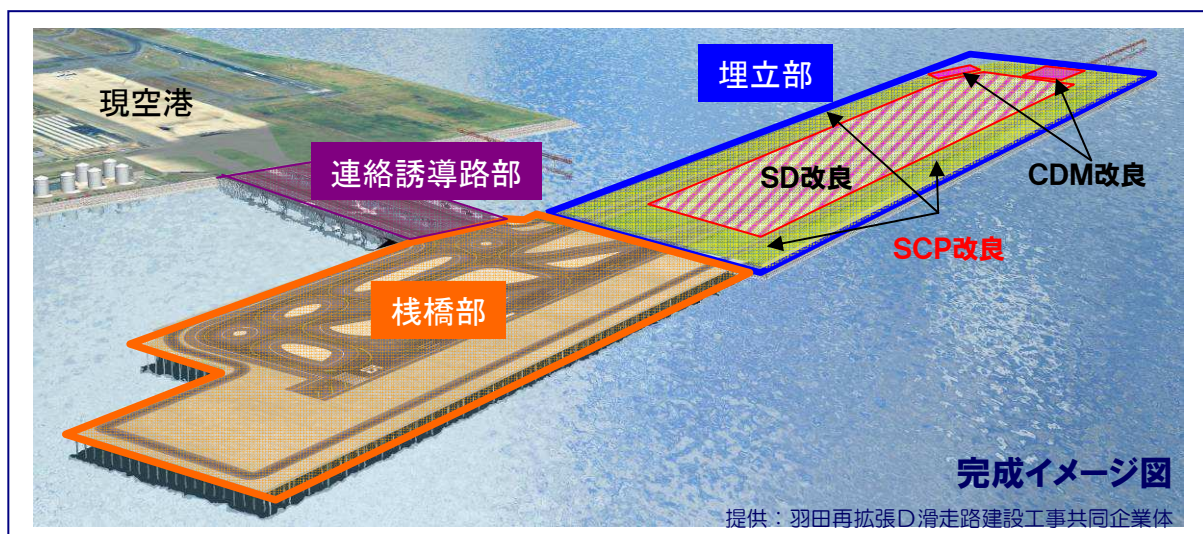
竹芝記者クラブ 都庁記者クラブ 横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者会 千葉県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所
D滑走路プロジェクト推進室 ^{しげ}四家・上原・西井
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7
メンテナンスセンターアネックス 5階
電話 03-5756-6573
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

1. サンドコンパクション(SCP)工 全工区打設完了

- 12月13日(木)未明に、埋立護岸の基礎となる海底の地盤改良工事としてのサンドコンパクション工が完了
- 最盛期には14隻稼働したSCP船も全て工事区域を出域
- 本年5月末から本格的にSCPの工事を開始し、12月までに計71,747本の砂杭を海底地盤中に打設
- 砂杭の径は直径2mであり、長さは最大約27m、使用した砂のボリュームは約620万m³
- 砂杭を約54万m²に打設し、その砂杭の抵抗で、上部に構築する埋立部の外周部となる護岸構造を支える
- 今後は、埋立部の地盤改良として、サンドドレーン(SD)、サンドマット工、CDM工、盛り上がり土の撤去工が主体

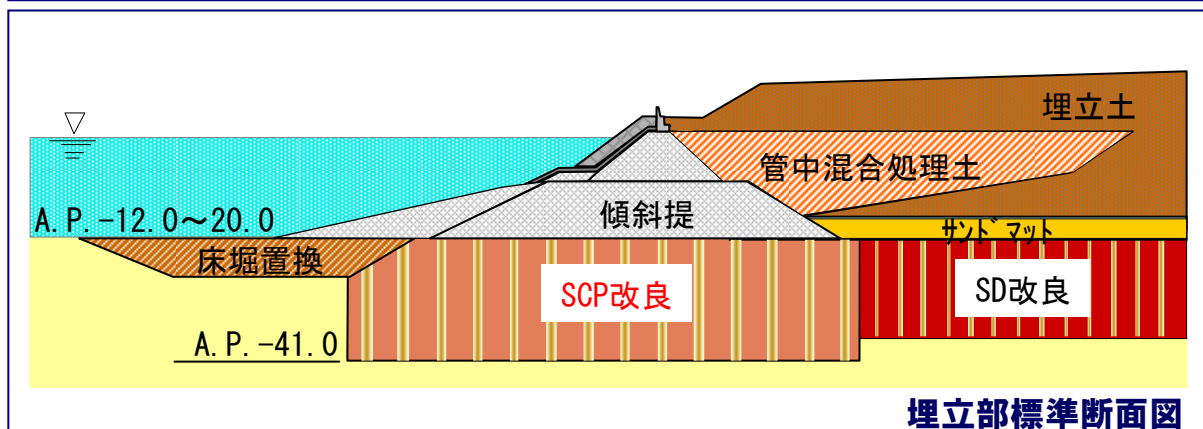


地盤改良工 施工状況

最盛期には14隻のSCP船が稼働



昼間施工



夜間施工

2. 24時間365日の工事工程

- ・ 24時間365日の工事工程で進めており、年末年始に関しても以下の通り作業を実施予定

サンドドレーン工

砂の鉛直ドレーンと、盛土の載荷重により、地盤の圧密沈下を促進させ地盤強度を増加させる。



サンドマット工

海底に厚さ約1.5mの砂を撒き出す。



ジャケット工場製作

栈橋部上部ジャケット製作を行う。



盛り上がり土撤去工

海底地盤の浚渫を行う。



CDM工

軟弱土そのものを原位置で、セメントとともに攪拌混合・固化させて、海底地盤の改良を行う。



航行安全センター

作業船舶、東京国際空港周辺海域の安全な船舶航行を守る。



工事区域の警戒と環境モニタリング

- ・ 航行船舶の安全と作業の円滑な遂行と事故防止の為の警戒船の配置。
- ・ 施工中の環境保全のための環境モニタリング